



《サマリー》

《インターバンク市場》

4月の日銀当座預金残高は月初546兆1,500億円から始まった。不足要因として保険・消費税・法人税等の揚げ（4日）、源泉税揚げ（12日）、国債・国庫短期証券の発行等があったものの、余剰要因として年金定時払い（14日）に加え、各種財政資金の支払い（25日）、月を通じた国債買入オペ等もあり、日銀当座預金残高は552兆9,200億円まで増加し越月した。月末時点のマネタリーベースは前月末対比+4兆5,900億円増加の680兆4,400億円であった。無担保コールON物の加重平均金利は月初▲0.009%から始まり、3月積み期実質最終日の14日までビッドサイドの堅調な調達意欲を背景に▲0.008%～▲0.005%のレンジで推移した。4月積み期に入り、基準比率が71.5%と前積み期比+3.5%上昇したことを背景に大手行を中心に依然として堅調な調達意欲に支えられ、同金利は17日に▲0.010%から始まり、週末21日まで▲0.010%～▲0.009%のレンジで推移した。しかし、国庫金払い等の影響により24日よりビッドサイドの調達意欲に一服感が見られたことで同レートは低下基調となり、月末最終営業日となる28日には▲0.073%まで低下し越月した

ターム物は1～2W物を中心に主に▲0.025%～▲0.005%のレンジで取引された。

9日に日本銀行新総裁として植田和男氏が就任した。27・28日に新総裁体制となり初の開催となった金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定した。またフォワードガイダンスが一部修正された他、1年から1年半程度をかけて金融政策運営について多角的にレビューを行うこととした。

《債券レポ市場》

4月の足許GC取引は、月初▲0.10%台前半の取引から始まり、一時▲0.15%近辺まで低下した。以降は積み最終日までレートは上昇し、▲0.095%～▲0.085%で取引された。月後半は、▲0.12%～▲0.11%の出会いから始まり、月末初物の取引ではレートが大きく低下し、▲0.200%近辺の出会いも見られた。

SC取引は前月同様、タイトな銘柄が多く見られた。

《CP市場》

4月末のCP市場残高は24兆2,596億円で前月比4兆5,501億円増加した。前年同月比では1兆904億円の減少となった。発行市場は、期明けの発行再開に伴い残高が前月比では大幅に増加した。一方で、コロナ感染症の収束等に向けた動きを受けて一部の業態で資金調達ニーズの減退傾向が見られ、前年同月比で市場残高は2か月連続の減少となった。

CP等買入オペは、当初予定通り2回の合計8,000億円で実施された。10日オフア分の結果は、応札額6,435億円、案分レート0.002%（平均レート0.011%）、25日オフア分は、応札額7,275億円、案分レート0.003%（平均レート0.015%）となった。

なお、買入オペ残高は4月末時点で2兆2,972億円となっている。

「インターバンク市場」

4月の日銀当座預金残高は月初546兆1,500億円(3日)から始まった。不足要因として保険・消費税・法人税等の揚げ(4日)、源泉税揚げ(12日)、国債・国庫短期証券の発行等があったものの、余剰要因として年金定時払い(14日)に加え、各種財政資金の支払い(25日)、月を通じた国債買入オペ等もあり、日銀当座預金残高は552兆9,200億円まで増加し越月した。月末時点のマネタリーベースは前月末対比+4兆5,900億円増加の680兆4,400億円であった。無担保コールON物の加重平均金利は月初▲0.009%から始まり、3月積み期実質最終日の14日までビッドサイドの堅調な調達意欲を背景に▲0.008%~▲0.005%のレンジで推移した。4月積み期に入り、基準比率が71.5%と前積み期比+3.5%上昇したことを背景に大手行を中心に依然として堅調な調達意欲に支えられ、同金利は17日に▲0.010%から始まり、週末21日まで▲0.010%~▲0.009%のレンジで推移した。しかし、国庫金払い等の影響により24日よりビッドサイドの調達意欲に一服感が見られたことで同レートは低下基調となり、月末最終営業日となる28日には▲0.073%まで低下し越月した

ターム物は1~2W物を中心に主に▲0.025%~▲0.005%のレンジで取引された。

9日に日本銀行新総裁として植田和男氏が就任した。27・28日に新総裁体制となり初の開催となった金融政策決定会合で金融政策の現状維持を決定した。またフォワードガイダンスが一部修正された他、1年から1年半程度をかけて金融政策運営について多角的にレビューを行うこととした。

「債券レボ市場」

4月の足許GC取引は、月初▲0.10%台前半の取引から始まり、一時▲0.15%近辺まで低下した。以降は積み最終日まで、レートは上昇し▲0.095%~▲0.085%で取引された。月後半は、▲0.12%~▲0.11%の出会いから始まり、月末まで同水準で推移した。月末初物の取引では、レートは大きく低下し一時▲0.200%近辺の出会いも見られた。ターム物GCは、1~2W物で条件付きを中心に▲0.20%~▲0.18%近辺、1M物は条件付きで▲0.20%~▲0.15%、銘柄条件なしで▲0.17%~▲0.15%の出会いとなった。3M物は▲0.18%~▲0.15%のレンジで引合いが見られた。

SC取引は、10年債を中心にカレント近辺及びチーペスト周辺銘柄に引合いが多く見られた。10年債カレント銘柄である10年370回債は月を通してビッドは限定的であった。チーペスト銘柄である10年359回債は月を通して▲0.40%台半ば~▲0.30%台後半で取引された。

「CP市場」

4月末のCP市場残高は24兆2,596億円で前月比4兆5,501億円増加した。前年同月比では1兆904億円の減少となった。発行市場は、期明けの発行再開に伴い残高が大幅に増加した。一方でコロナ感染症の収束等に向けた動きを受けて一部の業態で資金調達ニーズの減退傾向が見られ、前年同月比で市場残高は2か月連続の減少となった。

業種別残高では、一般事業法人は8兆5,035億円(前月比+2兆7,769億円)、その他金融は10兆8,117億円(同+1兆7,806億円)、金融機関は2兆9,797億円(同+1,990億円)とそれぞれ増加した。一方、ABCPは1兆9,647億円(同▲2,064億円)と減少した。発行レートは、概ね0%から小幅なプラス圏での出会いが中心となった。

【新発3M物の発行レート】

最上位銘柄(a-1+格) 0.000%~0.010% 一般事業法人(a-1格) 0.000%~0.014%
その他金融銘柄(a-1格) 0.040%~0.060%

CP等買入オペは、当初予定通り2回の合計8,000億円で実施された。10日オファー分の結果は、応札額6,435億円、案分レート0.002%(平均レート0.011%)、25日オファー分は、応札額7,275億円、案分レート0.003%(平均レート0.015%)となった。

なお、買入オペ残高は4月末時点で2兆2,972億円となっている。

証券保管振替機構によると、4月末時点における発行登録企業数は1社増で、547社であった。

新規登録：TDK

「TDB 市場」

●国庫短期証券入札

(単位：億円、%)

| 回号 | 入札日 | 発行日 | 償還日 | 募入決定額 | 価格競争入札 | | | |
|------|-----------|-----------|------------|----------|-----------|----------|----------|---------|
| | | | | | 応募額 | 平均利回 | 最高利回 | 案分率 |
| 1148 | 2023/4/3 | 2023/4/4 | 2023/7/10 | 51,251.7 | 172,607.0 | ▲ 0.1681 | ▲ 0.1579 | 54.7668 |
| 1149 | 2023/4/6 | 2023/4/10 | 2023/10/10 | 32,540.5 | 150,842.0 | ▲ 0.1574 | ▲ 0.1454 | 1.1546 |
| 1150 | 2023/4/7 | 2023/4/10 | 2023/7/18 | 51,251.6 | 192,645.0 | ▲ 0.1875 | ▲ 0.1860 | 90.7936 |
| 1151 | 2023/4/14 | 2023/4/17 | 2023/7/24 | 51,251.5 | 168,950.0 | ▲ 0.1816 | ▲ 0.1675 | 93.4287 |
| 1152 | 2023/4/19 | 2023/4/20 | 2024/4/22 | 28,476.7 | 112,322.0 | ▲ 0.1515 | ▲ 0.1258 | 58.1818 |
| 1153 | 2023/4/21 | 2023/4/24 | 2023/7/31 | 51,251.5 | 163,930.4 | ▲ 0.1779 | ▲ 0.1619 | 62.2923 |

●国庫短期証券買入オペ

(単位：億円、%)

| | オファー日 | スタート日 | オファー額 | 応札総額 | 落札総額 | 按分レート (全取レート) | 平均レート | 按分率 |
|------------|-----------|-----------|-------|-------|-------|------------------|--------|------|
| 国庫短期証券買入オペ | 2023/4/5 | 2023/4/6 | 1,000 | 4,954 | 1,000 | 0.0230 | 0.0230 | 40.0 |
| 国庫短期証券買入オペ | 2023/4/11 | 2023/4/12 | 1,000 | 6,050 | 1,000 | 0.0240 | 0.0240 | - |
| 国庫短期証券買入オペ | 2023/4/18 | 2023/4/19 | 1,000 | 8,693 | 1,000 | 0.0500 | 0.0520 | 41.3 |
| 国庫短期証券買入オペ | 2023/4/25 | 2023/4/26 | 1,000 | 6,235 | 1,000 | 0.0080 | 0.0080 | - |

「日銀当座預金増減要因と金融調節」

(億円)

| 資金需給実績 | 4月中 | 前年同月中 |
|----------------|-----------|-----------|
| 銀行券要因 | ▲ 7,616 | ▲ 13,977 |
| 財政等要因 | ▲ 42,893 | ▲ 55,824 |
| 一般財政 | 116,589 | 102,058 |
| 国債(1年超) | ▲ 112,385 | ▲ 110,635 |
| 発行 | ▲ 118,368 | ▲ 117,930 |
| 償還 | 5,983 | 7,295 |
| 国庫短期証券 | ▲ 19,663 | ▲ 47,206 |
| 発行 | ▲ 327,204 | ▲ 337,128 |
| 償還 | 307,541 | 289,922 |
| 外為 | ▲ 455 | ▲ 1,131 |
| その他 | ▲ 26,979 | 1,090 |
| 資金過不足 | 不 50,509 | 不 69,801 |
| 準備預金増減 | | |
| 金融調節(除く貸出支援基金) | 88871 | 59749 |
| 国債買入 | 80078 | 87058 |
| 国庫短期証券買入 | 4001 | 20019 |
| 国庫短期証券売却 | 0 | 0 |
| 国債買現先 | 0 | 0 |
| 国債売現先 | 0 | 0 |
| 共通担保資金供給(本店) | 0 | 0 |
| うち固定金利方式 | 0 | 0 |
| 共通担保資金供給(全店) | 2394 | ▲ 651 |
| うち固定金利方式 | 2394 | ▲ 651 |
| CP買現先 | 0 | 0 |
| 手形売出 | 0 | 0 |
| CP等買入 | 1740 | 4769 |
| 社債等買入 | ▲ 812 | ▲ 37 |
| ETF買入 | 701 | 1056 |
| J-REIT買入 | 0 | 0 |
| 被災地金融機関支援資金供給 | 0 | 0 |
| 新型コロナ企業金融支援特別 | ▲ 2514 | ▲ 55845 |
| 気候変動対応オペ | 0 | 0 |
| 貸出 | 0 | 0 |

(億円)

| 金融調節 | 4月中 | 前年同月中 |
|----------------|-------|-------|
| 国債補完供給 | 3,283 | 3,380 |
| 米ドル資金供給用担保国債供給 | 0 | 0 |
| 金融調節(貸出支援基金) | 0 | 0 |
| 成長基盤強化支援資金供給 | 0 | 0 |
| 貸出増加支援資金供給 | 0 | 0 |

| 日銀主要勘定(月末残高) | 4月中 | 前年同月中 |
|---------------------|-----------|-----------|
| 銀行券 | 1,227,166 | 1,212,685 |
| 国庫短期証券買入 | 29,580 | 133,414 |
| 国庫短期証券売却 | 0 | 0 |
| 国債買現先 | 0 | 0 |
| 国債売現先 | 0 | 0 |
| 共通担保資金供給(本店) | 0 | 0 |
| うち固定金利方式 | 0 | 0 |
| 共通担保資金供給(全店) | 142,137 | 4,450 |
| うち固定金利方式 | 102,116 | 4,450 |
| CP買現先 | 0 | 0 |
| 手形売出 | 0 | 0 |
| CP等買入 | 22,970 | 29,914 |
| 社債等買入 | 79,582 | 86,045 |
| ETF買入 | 371,161 | 366,714 |
| J-REIT買入 | 6,782 | 6,770 |
| 被災地金融機関支援資金供給 | 1,716 | 5,324 |
| 新型コロナ企業金融支援特別 | 57,296 | 812,527 |
| 気候変動対応オペ | 44,214 | 20,483 |
| 貸出 | 0 | 0 |
| 国債補完供給 | 48,525 | 5,820 |
| 米ドル資金供給用担保国債供給 | 0 | 0 |
| 貸出支援基金 | 698,914 | 616,049 |
| 成長基盤強化支援資金供給 | 47,971 | 57,359 |
| 貸出増加支援資金供給 | 650,943 | 558,690 |
| 米ドル資金供給(百万米ドル) | 0 | 0 |
| 成長基盤強化支援資金供給(百万米ドル) | 17,709 | 19,143 |

(出所: 日本銀行HPより)

「無担保コール市場 月中業態別市場残高」

(億円)

| 出手 | | | 業態 | 取手 | | |
|----------|---------|---------|-------|---------|---------|----------|
| (前年同月比) | (前月比) | 平残 | | 平残 | (前月比) | (前年同月比) |
| ▲ 27,455 | ▲ 4,779 | 18,683 | 都銀等 | 19,559 | ▲ 7,801 | +12,880 |
| +3,576 | +636 | 23,073 | 地 銀 | 65,898 | +2,362 | ▲ 24,587 |
| +5,302 | +802 | 10,862 | 信 託 | 8,176 | ▲ 207 | ▲ 1,586 |
| +13,970 | ▲ 3,255 | 64,963 | 投 信 | 0 | +0 | +0 |
| ▲ 1,461 | +181 | 647 | 外 銀 | 1,473 | ▲ 462 | ▲ 1,035 |
| ▲ 1,342 | ▲ 1,032 | 649 | 第二地銀 | 6,869 | ▲ 1,847 | ▲ 4,802 |
| +4,828 | +1,127 | 17,917 | 信 金 | 817 | ▲ 420 | ▲ 232 |
| ▲ 2,992 | ▲ 419 | 558 | 農林系 | 5,221 | +4,476 | +2,768 |
| +0 | +0 | 0 | 証券・証金 | 34,372 | ▲ 1,661 | +1,471 |
| +10,020 | +3,853 | 14,950 | 生損保 | 0 | +0 | +0 |
| ▲ 4,648 | +2,013 | 16,083 | その他 | 26,000 | +4,687 | +14,921 |
| ▲ 202 | ▲ 873 | 168,385 | 合計 | 168,385 | ▲ 873 | ▲ 202 |

(出所: 日本銀行HPより)

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。

上田八木短資株式会社

登録金融機関 近畿財務局長（登金）第 243 号

東京本社 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1 丁目 2 番 3 号 TEL : 03-3270-1711（代表）

大阪本社 〒541-0043 大阪府大阪市中央区高麗橋 2 丁目 4 番 2 号 TEL : 06-6202-5551（代表）

加入協会 日本証券業協会